

第4回「食」と「漁」を考える地域シンポ
水産物の価格形成と流通システム

共催：（財）東京水産振興会、（社）漁業情報サービスセンター
コーディネーター：渥美雅也（東京水産振興会）
二平 章（漁業情報サービスセンター）

と き：2010年3月12日（金）午後3時から5時
ところ：東京水産会館 4階会議室
東京都中央区豊海町5の9 電話 03-3533-8111

挨拶	15:00-15:05
話題提供 「水産物の価格形成と流通システム」 市村 隆紀（水産・食料研究会事務局長）	15:05-16:05
質疑討論 座長：二平 章（漁業情報サービスセンター）	16:05-17:00

開催趣旨：2009年の秋から日本経済はデフレ傾向が深刻化し、賃金や雇用は削減、家計消費が縮小し、景気をさらに悪化させている中で、水産物の価格は産地・消費地の双方において急速な下落傾向を示している。このような状況のなかで市村氏らは、水産物価格の推移・流通段階別のマージン率から流通システムの問題点を整理し、漁業者の手取りを実質的に増やすための取り組みの提案も含む論文を発表された。氏は輸入水産物依存の戦略から日本産水産物に軸足を変更せざるを得ない時代の変わり目にあって、無機質化した社会的分業でなく、生産者、流通業者の関連性を重視した有機的な分業関係の再構築に向けて一歩踏み出す必要があるとし、「魚価問題」への切り込み無くして、日本漁業の再生はないと述べている。そこで、今回は、この論文内容の紹介をいただくとともに、これからの魚価対策問題について参加者の皆さんと意見交換する。

なお、講演終了後、懇親会（会費制）を予定しております。

会場の都合がありますので、事前にお申込みください。

申込先：東京水産振興会（木村・松田）

E-mail:tkyfish@blue.ocn.ne.jp Tel:03-3533-8111 Fax:03-3533-8116